

定例会議資料	令和7年度高知県警察警戒の空白を生じさせない組織運営について	令和7年8月27日 警務課
<p>1 将来を見据えた警察組織の構造改革について</p> <p>(1) 目の前の治安課題に対処するための組織の機構改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 近年の社会情勢の変化から、警察を取り巻く治安情勢が変化 <ul style="list-style-type: none"> → 部門横断的で、県境を越えた広域的な対応を要する治安課題が増加 <p>(2) 将来を見据えた組織の構造改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 県の人口動態等の変化から、県内各地域における治安情勢が変化 ◆ 近年の社会情勢の変化から、職員の働き方や考え方が多様化 <ul style="list-style-type: none"> → 5年後・10年後の社会を見据えた組織の構造改革が必要 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>時間軸の異なる上記2つの課題に関し、両者のバランスに配慮しつつ、複眼的な視点を持って、同時進行的に取組を推進する必要性</p> </div> <p>2 人的リソースを有効活用するための業務の効率化・合理化等について</p> <p>(1) 本部内各部の庶務業務の集約 本部内各部に共通する庶務業務を抽出・統合し、スケールメリットを創出</p> <p>(2) 人身安全対処体制及び署当直支援体制の強化 本部当直の一部縮小に伴う人的リソースの再配置により、人身安全対処体制及び署当直支援体制を強化</p> <p>(3) 地域交通課の新設 小規模署の地域課と交通課を地域交通課として統合し、スケールメリットを創出</p> <p>(4) 分庁舎業務内容の縮小 署から近距離に位置する一部の分庁舎に関して、当直体制を署とブロック運用することで、業務内容を縮小</p> <p>(5) 交番・駐在所等の在り方の見直し 交番・駐在所に関し、管轄区域の治安情勢のほか、津波浸水区域や施設の老朽化の程度等の状況を総合的に考慮して、統廃合の是非を含めて在り方を検討</p> <p>(6) その他、業務の効率化・合理化に関する施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 自動音声ガイダンスの導入拡大 本部及び大規模署を中心に、自動音声ガイダンスの導入拡大を検討 イ 本部・署の窓口受付時間等の見直し 本部・署の各種窓口業務に関して、受付時間等の見直しを検討 		

定例会議資料	令和7年上半期の少年非行情勢について	令和7年8月27日 人身安全・少年課
--------	--------------------	-----------------------

1 非行少年等の推移

単位：人

	刑法犯			特別法犯			ぐ犯少年	不良行為少年
	刑法犯少年	触法少年(刑法)	小計	特別法犯少年	触法少年(特別法)	小計		
R2	78	50	128	31	2	33	0	1,374
R3	94	57	151	34	2	36	1	1,568
R4	104	58	162	28	2	30	0	1,405
R5	88	57	145	19	4	23	0	1,509
R6	115	93	208	27	16	43	1	1,733
R7.6末	59	48	107	13	0	13	0	745
前年同期比	6	15	21	-6	-3	-9	-1	15

2 刑法犯少年、触法少年（刑法）の罪種別・学職別状況

	凶悪犯		粗暴犯		窃盗犯				知能犯				風俗犯		占有離脱物横領等その他		合計					
					侵入窃盗	万引き	乗り物盗	その他														
	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比		
未就学																						
児童生徒	小学生	-2	1	1	17	8		14	6		-1	3	3		2	2	2		22	9		
	中学生		4	3	29	2	1	1	14		12	5	2	-4			12	4	45	9		
	高校生	2	2	2	1	8	-5		1	-5	5	3	2	-3		-1	2	2	4	2	18	1
大学生・その他学生				-1	4	2		2	2	2	1		-1				1		5	1		
有職少年	1	1	5	5	5	-2	-1	3			-1	2							-2	11	2	
無職少年		-1	1	-1	5	2		4	2	1									-1	6	-1	
合計	3		13	8	68	7	1		38	5	20	7	9	-5		-1	4	4	19	3	107	21

3 再非行少年の状況

	R2	R3	R4	R5	R6	R7 6月末	前年 同期比	増減率
刑法犯少年 触法少年（刑法）	128	151	162	145	208	107	21	24.4%
再非行少年	40	44	46	43	66	36	6	20.0%
再非行率	31.3%	29.1%	28.4%	29.7%	31.7%	33.6%	-1.3pt	

4 特別法犯少年、触法少年（特別法）の罪種別・学職別状況

		麻薬及び向精神薬取締法		覚醒剤取締法		銃刀法		軽犯罪法		迷惑防止条例		青少年保護育成条例		児童買春・児童ポルノ禁止法		その他		合計		
		人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	
児童・生徒等	小学生以下																			
	中学生								-9				1	1					1	-8
	高校生					1	1		-2					-8					1	-9
大学生・その他学生											-1									-1
有職少年		5	5						-2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	7
無職少年		2	2																2	2
合計		7	7			1	1		-13	1		1	1	2	-6	1	1	13	-9	

5 不良行為少年の補導状況

		児童・生徒						大学生		その他学生		有職少年		無職少年		合計			
		小学生以下		中学生		高校生		人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比
		人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比	人数	前年同期比
飲	酒			-3	6	5	12	6	2	-5	14	-4	9	1	43				
喫	煙	-3	62	24	87	-3	8	1	8	-11	146	-13	65	15	376	10			
粗	暴	10	8	17	5	1	-4				2	-3	1	1	31	7			
深	夜	3	2	34	-12	63	-17				43	-3	41	24	184	-6			
不	健全			6	4	2	-7				1	-3	2	2	11	-4			
そ	の	14	-1	53	4	20	4			-2	7	5	6	-2	100	8			
合	計	27	6	172	22	179	-22	20	7	10	-18	213	-21	124	41	745	15		

6 福祉犯被害少年の罪種別・学職別状況

被害罪名	小学生以下	中学生	高校生	大学生 その他学生	有職少年 無職少年	合計	前年同期比
青少年保護育成条例		1	1			2	-4
児童買春・児童ポルノ 禁止法		3	4			7	2
児童福祉法		1				1	1
風営適正化法							
喫煙禁止法					1	1	1
性的姿態撮影等処罰法	3	2	3	2	2	12	8
その他	1					1	
計	4	7	8	2	3	24	
前年同期比	4	2	-2	2	2		8

※ 福祉犯検挙数は25件（前年同期比+3件）、検挙人員は12人（前年同期比-4人）

7 今後の対策

- (1) コンビニサポートポリスとの連携等による喫煙対策の推進
- (2) 少年非行情勢に即した効果的な非行防止教室の実施
- (3) 福祉犯被害から少年を守る取組の推進

定例会議資料	令和7年上半期の特殊詐欺等認知・検挙状況等について	令和7年8月27日 組対課・生企課
--------	---------------------------	----------------------

1 認知状況

令和7年1月～6月		認知件数(前年同期比)	被害額(前年同期比)
特殊詐欺	全国	13,213件(+4,256件)	約597.3億円(+約369.4億円)
	県内	50件(+33件)	約2億8,732万円(+約1億5,344万円)
SNS型 投資詐欺	全国	2,884件(-702件)	約351.2億円(-約153.3億円)
	県内	13件(-7件)	約1億9,942万円(-約1億5,635万円)
SNS型 ロマンス詐欺	全国	2,461件(+937件)	約239.6億円(+約82.4億円)
	県内	8件(-8件)	約1億441万円(-約5,290万円)

2 検挙状況

令和7年1月～6月		検挙件数(前年同期比)	検挙人員(前年同期比)
特殊詐欺	全国	2,974件(+354件)	1,017人(+135人)
	県内	10件(±0件)	4人(+2人)
SNS型 投資詐欺	全国	86件(+57件)	36人(+20人)
	県内	0件(±0件)	0人(±0人)
SNS型 ロマンス詐欺	全国	109件(+78件)	67人(+46人)
	県内	0件(±0件)	0人(±0人)

3 未然防止の現状と抑止対策

(1) 未然防止件数等

令和7年1月～6月		未然防止件数 (前年同期比)	未然防止金額 (前年同期比)	阻止率 (前年同期比)	
特殊詐欺	全国	9,403件(-1,353件)	約67.9億円(+約31.5億円)	42.2%(-12.9%)	
	県内	18件(-2件)	約6,064万円(+約5,303万円)	26.9%(-27.2%)	
SNS型投資・ロマンス詐欺		県内	2件(-2件)	約25万円(-約962万円)	8.7%(-1.3%)

(2) 未然防止に向けた取組

ア 「だまされないための対策」の推進

イ 「だまされても被害金を取られないための対策」の推進